



地域医療を支える、正志会グループ

## 1. 東京の地域医療を支える正志会グループについて

### 理念：医療をもって社会に貢献する

#### **急性期医療を中心とした地域包括ケアの実現に向け幅広い患者さんを受け入れる**

今後高齢化が進行する中で、国が進める地域全体で住民の健康を診る地域包括ケアは急務な課題となります。それは東京都においても例外ではありません。私たちは、この地域包括ケアを実現するための病院として役割を担っていきたいと考えています。そのため、地域救急医療センターとなる病院、回復期リハビリテーション病院、地域包括ケア病床を有する病院、慢性期病床を有する病院を運営し、その特性に合わせて高度急性期の患者さんから回復期、そして慢性期に至る方々まで幅広く受け入れています。さらに、患者さんを地域の生活する場にお返しするために在宅診療所や訪問看護ステーションも運営し、退院後の在宅医療においても重要な役割を果たしています。

#### **優秀な専門医が揃っている—高齢化とともに総合診療医の力が必要になる**

私たちの病院には、非常に優秀な専門医が揃っています。そのため、患者さんは安心して治療を受けることができるのではないかでしょうか。私は医師には、専門医としての能力に加え、今後はさらに総合診療医としての能力を持ってほしいと考えています。例えば、これからの医師には、専門が整形外科であっても風邪の症状を的確に診断できるような力が必要になるのではないかでしょうか。それは、高齢者は複合的な疾患を抱えることが多く、専門分野外の診療が必要になるからです。つまり、専門家であると同時に総合的に患者さんを診ることができます。プライマリ・ケアに対応できることが重要になってきます。このため、私たちの病院では、総合診療医を病院全体で育てていきたいと考えています。

#### **高齢者の増加とともに介護との連携も重要となる**

今後、全国的に高齢者は増加していくますが、東京では同時に核家族化が進行しています。

核家族化は、老々介護や独居の高齢者の増加につながる重要な課題です。

地域包括ケアにおいて医療は重要ですが、これらの課題は医療だけでは解決できません。

介護との連携など、医療を超えた事業を作りだすことが重要になります。高齢化が深刻化する2025年には、

東京都で在宅医療が必要な患者さんは1日につき約14万人になり、今より5万人増えると言われています。在宅医療の実現のためには、医療と介護の連携など多職種の連携は避けては通れないでしょう。

#### **東京都では医療連携が重要となる—ネットワーク化の実現に向けて**

東京都は全都的に広く患者さんが移動すると言われています。それは、がんのように急がずにじっくりと専門医を選んで受診するような病気や治療に緊急を要さない慢性期の患者さんは、必ずしも地元の病院を選ぶとは限らないからです。また、治療に緊急を要する患者さんであっても自宅と離れた地域に搬送される場合もあります。そのため、東京都においては、地元のみならず全域に渡る医療連携が重要になるでしょう。

#### 電子カルテのネットワーク化・地元の病院へお返しするための病院救急車

#### **地域包括ケアの実現に向けて—生活者を支える病院へ**

お話ししてきたように、今後高齢化が進行する中で、地域で患者さんを診る地域包括ケアを支える医療が重要になります。地域包括ケアとは、生活者を中心に置いた医療介護サービスです。その領域は、疾患の治療のみならずヘルスケア全般に及び、生活者を支えるということを意味します。生活者の視点に立ち、生活を支える医療でありたいというのが私たちの願いです。そのため、私たちは患者さんを選ぶことはありません。どなたにも来ていただきたいと思っていますし、どんな患者さんにも対応できる病院を目指しています。

#### **新型コロナウイルス感染症への対応**

私たちは必要とされる医療を提供することが使命と考えています。新型コロナウイルス感染症に対する医療は、絶対的に必要とされるものであり、平成立石病院、南町田病院、花と森の東京病院で入院医療を提供し、荒木記念東京リバーサイド病院や葛飾リハビリテーション病院ではボストコロナの患者さんを受け入れました。発熱外来、PCR検査などの検査、ワクチン接種は全病院で行いました。その他臨時医療施設の運営なども行い、おそらく日本一新型コロナウイルス感染症の診療を行った民間グループではないかと自負しております。要するに高齢化に対応した医療であっても、感染症に対応する医療であっても、住民の方に必要とされる医療を提供することが私達の使命です。

私達でなくてはできないことを考え私達なりの進化をし続け、ニーズに応え続けていきたいと考えております。

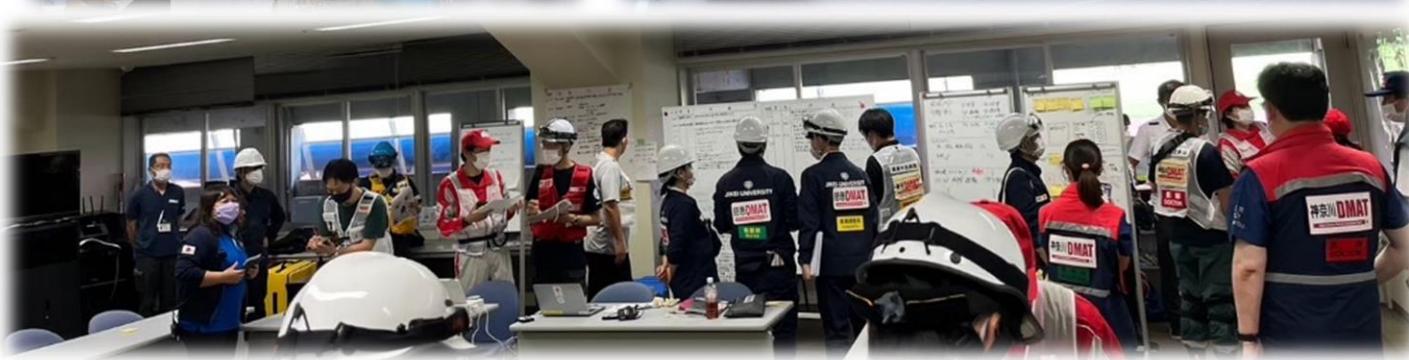


ペンギングループ  
CEO 猪口正孝  
医師・医学博士

## 災害医療・救急医療・COVID-19への取り組み/チーム医療



いち早く  
当事者意識をもって



### ペンギングループの名前の由来

グループの初めての病院「平成立石病院」を開院した時のこと。手術に診療に、誰よりも院内を動く猪口院長(当時)の姿とペンギンとを重ねて、入院中だった患者様(デザイナー)がロゴマークを作成してくれたのが始まりです。今のグループのスタートを築いた猪口理事長はまさにファーストペンギンでした。あれから20年以上が経過した今。

当グループには、今、その時々のファーストペンギンがたくさんいます。そんな組織になりました。ファーストペンギンとは、“いつも同じ誰か”なのではありません。“誰もが”ファーストペンギンになれます。当グループでは、「当事者意識」「自分事として」という言葉がたびたび登場します。

必要な時には誰もがファーストペンギンになろう!  
そんな願いが込められているのです。

## 亀有病院

## 葛飾リハビリテーション病院

## 平成立石病院

訪問看護  
居宅介護支援

98床  
(地ケア 60)  
(療養 38)



83床(回りハ)

83床(回りハ)



訪問看護  
居宅介護支援  
訪問診療

203床  
(急性期 171)  
(地ケア 32)

訪問看護  
居宅介護支援

199床  
(急性期 102)  
(地ケア 42)  
(回りハ 55)



北区

荒川区

訪問看護  
居宅介護支援  
訪問診療

115床  
(一般 41)  
(地ケア14)  
(レディース 60)

訪問看護  
居宅介護支援

## 南町田病院



222床 (急性期 61)  
(HCU 15) (地域包括医療 56)  
(回りハ 34) (地域包括ケア 56)

訪問看護  
居宅介護支援  
訪問診療  
看護小規模多機能型居宅介護

**1209床**

## 令和あらかわ病院

240床  
(急性期 129)  
(回復りハ 111)



## 東京リバーサイド病院



寿康会病院  
49床 (地ケア)

**救急・急性期～回復期、在宅まで**

- 2002年 平成立石病院開設
- 2003年 医療法人社団正志会開設
- 2004年 南町田病院開設
- 2005年 医療法人社団直和会開設
- 2009年 東京リバーサイド病院開設
- 2011年 正志会 社会医療法人認定
- 南町田訪問看護ステーションペンギン開設
- 2012年 立石訪問看護ステーションペンギン開設
- 2013年 花と森の東京病院開設
- 2015年 花と森の訪問看護ステーションペンギン開設  
東京リバーサイド訪問看護ステーションペンギン開設
- 2016年 葛飾リハビリテーション病院開設  
平成立石ペンギンクリニック開設  
立石介護支援センターべんぎん開設  
南町田介護支援センターべんぎん開設  
東京リバーサイド病院「荒木記念東京リバーサイド病院」に名称変更
- 2018年 ペンギンステイ南町田(看護小規模多機能型居室  
介護)開設  
南町田ペンギン在宅診療所開設
- 2022年 令和あらかわクリニック開設
- 2023年 令和あらかわ病院開設

## 平成立石病院

訪問診療



訪問看護

居宅支援  
介護

訪問診療

## 南町田病院

訪問看護

居宅支援  
介護

看多機

## 葛飾リハビリテーション病院

訪問看護

居宅支援  
介護

看多機

## 平成立石病院



### 1. 救急患者受け入れ件数が都内有数

脳卒中センターがあるため急性発症疾患(特に脳血管疾患)を多く受け入れており、入院(発症)直後から早期治療とリハビリテーションを行うことで運動機能改善に努めています。

### 2. 地域密着型の高度医療を提供

区の災害拠点病院でもあり、災害医療の支援にも医療専門職の一員としてリハビリテーション専門職が携わりサポートしています。

具体的には、高齢被災者のフレイル予防や災害時の取り巻く環境に合わせた専門職の助言など行っています。

### 3. 地域連携・グループ内連携

グループ内の回復期リハビリテーション病院や地域包括ケア病床のある病院と連携を取り、患者さんが安心してリハビリテーション医療を継続できるように「救う・治す医療」から「支える医療」も大事にしています。

患者さんがこの住み慣れた地域に戻れるように地域の様々な施設と連携をとり、地域の同じリハ専門職や他専門職も含め、さまざまな方と患者さんを支え、さらに地域を支えるリハビリテーションを担っています。地域を通じて、専門職間で学びあえる環境があり、病院内のスタッフだけでなく、さまざまな人とつながることができます。

所在地	〒124-0012 東京都葛飾区立石5-1-9 TEL : 03-3692-2121 FAX : 03-3692-2663
診療科目	内科、外科、脳神経外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、泌尿器科、肛門外科、麻酔科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、神経内科、救急科、リハビリテーション科
病床数	203床 (急性期一般1病床171床、地域包括ケア病床32床)
病院機能	東京都指定地域救急医療センター、東京都災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院



技師長 宮城春秀

## 葛飾リハビリテーション病院



### 1. 葛飾区で初の回復期リハビリテーション病院

葛飾区で初のリハビリテーション病院として、脳血管疾患・運動器疾患を中心としたリハビリテーションを提供しています。

### 2. エビデンスに基づいたリハビリテーション

セラピストを中心とした多職種連携で一人ひとりの患者さんに必要かつ効果的なリハビリテーションを提供しています。

多職種がそれぞれの専門性を活かし、協働しています。

### 3. リハビリ後の生活を想定した「支える医療」を提供

施設や自宅に患者さんが安心して退院できるように、"この先の日常生活や暮らし"を想定した支える医療を提供しています。

所在地	〒125-0061 東京都葛飾区亀有2-18-27 TEL:03-6231-2020 FAX : 03-3604-8041
診療科目	内科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
病床数	83床 (回復期リハビリテーション病床83床)
病院機能	日本医療機能評価機構認定病院



療法士長 宮原英詞

## 南町田病院



### 1. 地域の中核病院

地域住民の方が安心して生活できるように、急性期から回復期リハ、外来リハ、訪問リハを提供しています。町田市の介護予防事業にも参加しています。

### 2. 多職種連携で急性期から回復期まで

チームアプローチや連携に力を入れており、専門職としての役割とチーム医療の中でお互いに協働することを重要視しています。

### 3. 教育に力を入れています

スタッフは、50名近く在籍し、その中でもベテラン40%、中堅が30%と経験者が多いです。そのため、安全で質の高いリハビリを提供できるように科内教育を充実させ、多くの学生も受け入れています。

所在地	〒194-0004 東京都町田市鶴間4-4-1 TEL : 042-799-6161 FAX : 042-799-7711		
診療科目	内科(循環器、消化器、呼吸器、神経、腎臓、透析)、外科(消化器、呼吸器)、乳腺外科、形成外科、肛門外科、リハビリテーション科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、婦人科、眼科、救急科		
病床数	222床 (急性期一般1病床61床、HCU15床、地域包括ケア病床56床、地域包括医療病床56床、回復期リハビリテーション病棟34床)	療法士長 碓井篤	療法士長 山田真嗣
病院機能	東京都指定地域救急医療センター、東京都災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院		

## 令和あらかわ病院



### 1. 荒川区の地域医療を支える中心的な医療機関として

地域住民の方が安心して生活できるように、ICU・急性期から回復期リハ、外来リハまで一貫したリハビリテーションを提供しています。

### 2. 日本医科大学附属病院の特別連携病院として

先進・高度専門医療・三次救急を行う大学と密なつながりを持ち、様々な疾病と障害に対してアプローチをしています。

### 3. 病院の目の前に公園を造園

地域住民の憩いの場として大きな公園が設置される予定です。病院から屋外歩行訓練として活用するのはもちろん、地域住民の子供から高齢者まで様々な方が、スポーツや運動機会を通して交流の場となり、そこで専門職として携わる機会があります。

所在地	〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-45-1 TEL:03-6807-7500 FAX : 03-6807-7503
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、形成外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科
病床数	240床 (急性期一般1病床113床、ICU16床、回復期リハビリテーション病棟111床)
病院機能	東京都指定2次救急医療機関、東京都災害拠点病院



療法士長 下川 龍平

## 花と森の東京病院



社会医療法人社団 正志会  
**花と森の東京病院**

### 1.HUB機能を発揮する病院

グループ病院の内外との密接な関係とつながりにより、大学・地域・グループ病院と連携しています。地域のHUB病院としての機能があるため、様々な疾病や障害の患者さんに対して、急性期から回復期リハビリテーション、在宅まで、シームレスなリハビリテーションを提供しています。

### 2..この地に長く続く地域に欠かせない病院

昭和11年からこの地にある地域に欠かせない病院です(旧財務省病院を継承)。地域住民の方の健康管理サポートとして、外来リハビリテーションや地域へ向けた健康に関する講演会などを行っています。

### 3..積極的な救急や災害医療への関与

リハビリテーション部門も感染症患者さんへ、早期から積極的に関わり、機能やADL向上に関与します。また、災害医療では、被災者の方の環境に則したリハビリテーションを提供しています。

所在地	〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-3-6 TEL:03-3910-1151 FAX: 03-3940-5710
診療科目	内科、外科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、救急科 婦人科、泌尿器科、リハビリテーション科、皮膚科、形成外科、健診センター
病床数	199床 (急性期一般1病床102床 地域包括ケア病床42床、 回復期リハビリテーション病棟55床)
病院機能	東京都指定2次救急医療機関、東京都災害拠点連携病院 日本医療機能評価機構認定病院



技師長 宮城春秀

## 荒木記念東京リバーサイド病院



### 1.赤ちゃんから高齢者まで地域医療に貢献

子育て世代の若い世帯から高齢者までと幅広い層の患者さんにリハビリテーションを実施し、住み慣れた地域の患者さんの生活を支えます。

### 2..在宅復帰に向けて幅広い経験が出来る病院機能

急性期の一般病床や地域包括ケア病床はリハビリ目的で入院される患者さんが8割を占めます。治療を行いながら、退院に向けて他職種連携を図ります。在宅復帰に向けて家屋調査や調理訓練、買い物訓練なども実施しています。  
また退院後は訪問リハを実施し、一貫したリハビリテーションを提供しています。

### 3.ウイメンズリハビリテーション

女性の体の悩みや不調に対する障害のリハビリテーションを行っています。新しい分野で世界では有用性が認められていますが、国内では実施施設は少ないです。

所在地	〒116-0003 東京都荒川区南千住8-4-4 TEL03-5850-0311 FAX03-5850-0312
診療科目	産科、婦人科、小児科、内科、外科、乳腺外科、整形外科 リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科
病床数	115床 (レディース病棟60床 急性期一般病床41床 地域包括病床14床)
病院機能	東京都指定二次救急医療機関、日本医療機能評価機構、東京都周産期連携病院



主任 梶島 祥子

## 亀有病院



療法士長 櫻井 靖之

### 1.地域で長く地域医療を展開

1941年から地域の皆さんに親しまれてきた病院です。今も地域の皆さんと密接に関わりながら必要な医療を提供しています。

### 2.急性期・回復期・慢性期・在宅まで地域包括ケアを提供

長年この地で暮らす方々が安心して生活できるように急性期から在宅までシームレスな地域包括ケアを実践しています。

所在地	〒125-8520 東京都葛飾区亀有3-36-3 TEL : 03-3601-0186 FAX : 03-3604-5518
診療科目	内科、循環器科、呼吸器科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、内視鏡科、リハビリテーション科
病床数	98床（地域包括ケア病床60床、療養病床38床）

## 寿康会病院



### 1.「必ず在宅へ戻す」を合言葉に地域に愛される病院を目指しています

2.入院から外来、訪問まで一人一人の患者さんの生活に寄り添ったリハビリを提供しています

開院日	2004年10月1日
所在地	〒136-0073 東京都江東区北砂2-1-22 TEL:03-3645-9151 FAX : 03-3646-1295
診療科目	内科 外科 皮膚科 呼吸器科 リハビリテーション科、整形外科 小児科 心療内科
病床数	49床（地域包括ケア病床49床）

## 2. 地域医療を支える、正志会グループのリハビリ

### 幅広い領域で「暮らしやすさ」を取り戻す為の仕事



#### 理学療法士の仕事と活躍の場

理学療法士は、身体機能を捉えて動きが見れる専門家であり、医療から介護、保健や予防、スポーツと幅広い領域で必要とされています。今、この超高齢化時代では、理学療法士の期待は非常に高くさまざまな領域で必要とされています。法人でも急性期医療から回復期リハを経て在宅医療と、ヘルスケアとしての健康や予防など多くの領域で活躍しています。臨床だけでなく、教育や学術活動にも積極的に行い、多くの日本理学療法士協会の認定資格者が在籍しています。そのため、認定資格者を中心とした教育や学術を支援し、多くの学びを得ながら臨床経験を積むことができます。そして、大学や専門学校の教員と学術連携体制を整えており、研究者の支援をもらいながら研究活動が経験できます。臨床家としてのスペシャリストのキャリアもありますが、興味のある方は研究や教育のスペシャリストのキャリアの選択肢もあります。幅広い経験と多くのキャリアを選択できる法人であり自身のチャレンジと成長を実感できる環境です。



#### 作業療法士の仕事と活躍の場

作業療法士は、病気やけがの初期段階では基本的動作能力の改善を援助し、病状が安定したらより具体的な生活をイメージし、応用的動作能力の改善を図ります。最終的には住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、様々な「作業」を通じて社会とのつながりを作っていく。そうしたシームレスな関わりができるのは地域医療に貢献する正志会グループの強みであり、作業療法士が最も輝ける環境だと思います。

生活者の視点に立ち、生活者を支える病院で、患者さんが豊かに生きるために支援を一緒に行ってみませんか？



#### 言語聴覚士の仕事と活躍の場

退院後も住み慣れたところで安心してその人らしく生き生き過ごしていただけるように、コミュニケーション、高次脳機能、摂食嚥下など支障のある患者さんに言語聴覚療法を実施しています。グループ内には、新人から経験20年以上のベテランまで多くの言語聴覚士が所属し臨床・教育・研究に励んでおり、今年度からは摂食嚥下障害者に対する頸部電気刺激療法も導入しました。また今後は地域リハビリテーション活動支援事業にもこれまで以上に取り組んでいきたいと考えています。どの病院も活気があり、理学療法士・作業療法士をはじめ他職種との関係性もよく、チームアプローチを実践できています。私たちスタッフの個性は尊重され、自身のプライベートも大切にできるワークライフバランスに配慮された長く働くことができる職場環境です。

入院直後や術後の早期から、廃用症候群を予防すべく積極的にリハビリテーションを行い、回復期へと連続する密度の高いリハビリテーションを提供しています。  
患者さんへ寄り添い共に障害を克服するために支援します。

正志会グループのリハビリテーション専門職は、急性期から回復期、在宅、地域リハビリテーション活動と幅広い時期を経験できます。具体的には、急性期のリスク管理から回復期の積極的な機能や能力の回復と在宅復帰に向けた支援、そして住み慣れた地域へ戻ると、同じ法人の訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションや地域高齢者の健康予防事業と幅広い時期があるため、それぞれの知識と技術が必要とされます。知識と技術は常に進化するため、専門職としてチャレンジする気持ちがある方を求めていました。若いスタッフが多く明るい雰囲気でとても活気があります。スタッフ同士で声を掛け合い皆でフォローし、前向きに様々な事へチャレンジしています。



理学療法士技師長 宮城春秀

### 3. 正志会グループのリハビリテーション科教育

#### 長いセラピスト人生のために、卒後5年でセラピストとしての基礎を作る

卒後5年で最も必要な社会医療人としての心構えをはじめ、エビデンスに基づいた幅広い臨床評価や基本的な治療を実践できることを目指す。その上で継続的に専門的な評価・治療を学び、臨床家としての幅を広げる。

#### 職場の仲間と協働学習を行い、臨床の質を深堀りする

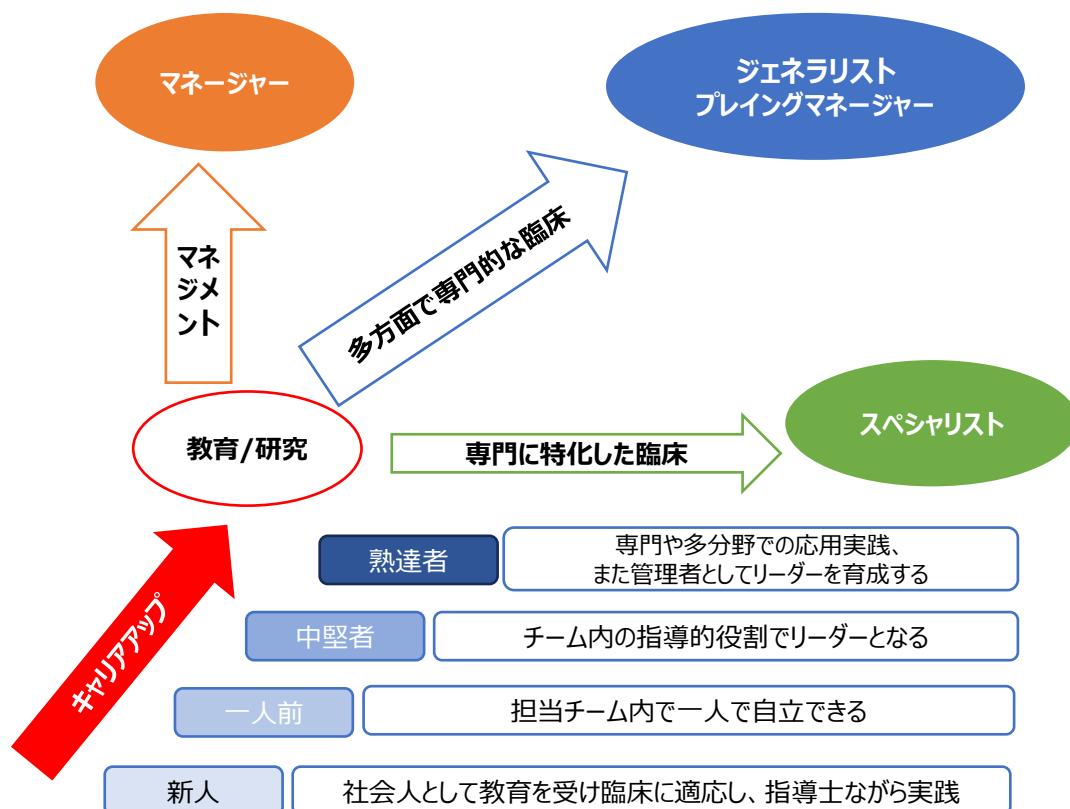
お互いに学び合い、仲間と協働学習を通して高め合う。  
また専門職のプロとして、妥協をせずに臨床の質を深堀りし効果を追求する。

#### 生涯学習を通して、長く働くことができる職場にする

臨床、教育、研究の3本柱で生涯学習を能動的に実践し、さまざまなキャリア形成ができる。  
仕事のやりがいを感じ、長く勤めることができる体制がある。

#### グループ病院内で多方面の専門性を発揮することができます。

また、広範囲の知識を有するジェネラリスト、ブレイングマネージャーや療法士認定資格のスペシャリストが多数活躍しています！



\*いつでもどこでも短時間で必要なコンテンツを見直せる動画、資料等を準備しています。

共通研修	専門職研修	マネジメント 教育/研究/その他
<ul style="list-style-type: none"><li>• 医療安全/リスク管理</li><li>• 感染</li><li>• 褥瘡</li><li>• 接遇</li><li>• NST/栄養リハビリテーション</li><li>• 災害医療(リハビリテーション)</li><li>• 医療機器関連(人工呼吸器、心電図など)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 理学療法評価/診断/訓練</li><li>• 作業療法評価/訓練</li><li>• 言語聴覚療法/評価/訓練</li><li>• 地域リハビリテーション (介護予防、保健事業)</li><li>• 訪問リハビリテーション</li><li>• リハビリテーション機器(物理療法含む)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワークショップ</li><li>• 症例検討会</li><li>• 教育指導方法</li><li>• 研究方法/統計学</li><li>• ウィメンズリハビリテーション</li><li>• 腎臓リハビリテーション</li><li>• 働く場の健康(産業理学療法)</li></ul>



### 脳卒中認定理学療法士/葛飾リハビリテーション病院

脳卒中を発症された患者さんに対し、リハビリテーションを通して力になりたいという気持ちから、認定を取得しようと思いました。認定を取得する過程の中で、脳卒中患者さんに対するリハビリテーションをより深く学べたことが良かったと感じます。  
まだ微力ではありますが、自分が学んだ知識と技術を後輩スタッフに還元出来たのではと感じています。



### 運動器認定理学療法士/南町田病院

学生時代から怪我・変形性疾患・骨折後のリハビリテーションに興味があり、継続して知識・技術をアップデートしていく方法の一つとして認定取得を目指しました。  
認定は取得しておしまいではなく、更新のためには継続して学習・学会参加発表をしていく必要があり、自分の知識・技術のアップデットツールとして使うことが出来ています。



## -スタッフ紹介- 活躍する スペシャリスト

### 言語聴覚士 失語・高次脳機能障害領域/令和あらかわ病院

認定資格を持って活動していた先輩をみて「この人みたいになりたい！」というのが目指すきっかけでした。

STの領域は聴覚障害・言語発達障害・摂食嚥下障害など対象領域は多岐にわたりますが、臨床現場だけでなく、地域で活動を行う上でも視野を広げることに繋がった点はとって良かったと思います。また、“障害”にまつわる専門知識から臨床における具体的なノウハウなど、臨床現場で活かせています。



### 脳卒中認定理学療法士・循環認定理学療法士/南町田病院

臨床の中で何でだろう？からもっと効果的な理学療法を進めるためにどんな勉強をすれば良いだろう？と模索していた時に認定療法士の存在を知り挑戦をして取得したいと思ったことから目指しました。

臨床推論の過程、エビデンス、ガイドライン、学会抄録作成などにおいて様々な知識がより多く経験することが出来ます。



### 2011年入職 作業療法士/葛飾リハビリテーション病院

明るく広いリハビリ室で、患者さんの退院後の生活を見据えて、上肢機能訓練や家事動作訓練、病棟でのリハビリも含めてADL訓練を行っています。

認知機能が低下している患者さんには、認知課題や作業活動を通して、入院生活に伴って更に認知機能が低下しないように働きかけています。

また、自分のライフスタイルの変化に伴って、上肢の方にも相談しやすく、業務内容や業務量の考慮をしていただき、子供がいる場合は男性・女性問わず育児と仕事の両立がしやすい職場だと思います。私自身、産休・育休を経験して現在育児と仕事を両立していますが、子供がいても安心して楽しく働くことができています。



### 2019年入職 理学療法士/花と森の東京病院

入職してすぐに回復期リハビリテーション病棟に配属されました。そこで2年間半の間、回復期リハの入院患者さんを経験させてもらい、今は一般病棟の急性期の入院患者さんを担当させていただき、いろいろな経験しています。

多くの先輩と相談しながら、安心して学んだことを活かしていくので、とても働きやすいと思います。



## -先輩からの声-

### 2018年入職 作業療法士/荒木記念東京リバーサイド

当院では、急性期に必要なリスク管理から回復期に必要な環境調整まで携わることができるため、より広い視野で患者さんを見ることが出来るようになったと感じています。

新人さんに対しては、一人一人にあったペースで日々スキルアップできるようにサポートしています。普段からコミュニケーションを大切にしており、不安な時はすぐに質問できる環境なので安心して仕事が出来ています。



### 2019年入職 理学療法士/南町田病院

私は学生時の当院の実習生でした。その時に先輩の皆様が、患者さんの生活や趣味活動等、リハビリを通して作業の再獲得を大切にされている姿を見て憧れを持ち就職しました。リハ科内はもちろんですが他職種とも密に連絡を取りやすい環境なのが強みです。

急性期で担当させて頂いていた患者さんが回復期リハビリや訪問リハビリでの様子も知ることが出来るので長く経過を追うことが出来ます。また、休日申請はシフト制で休み希望の申請が取りやすく、自分の趣味の予定との調整も出来ています。

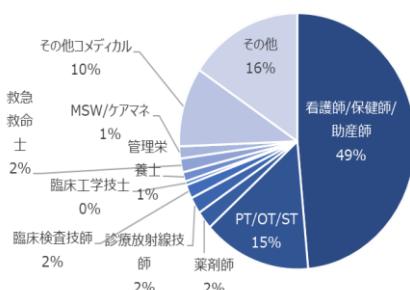


## 4. 地域医療を支える、正志会グループの魅力

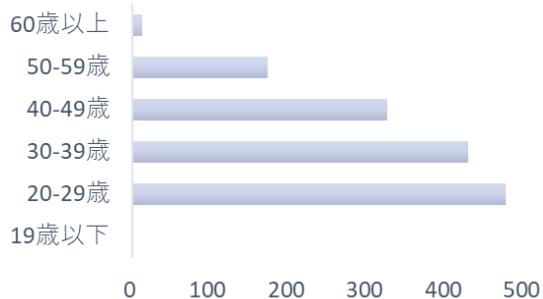
どんな人が働いているの？

総職員数 約2,500人 平均年齢 36.0歳  
リハビリテーション科 平均年齢 28.0歳

職種別職員割合(医師除く)



年代別職員割合(医師除く)



どんな魅力があるの？



### 1. 幅広い経験を積むことで知識と技術が修得できる

- 救急・急性期から回復期・在宅まで幅広い知識と技術が習得できます。
- 超急性期/急性期/回復期/地域リハビリテーション
  - 一部の専門的な分野で、ウィメンズ/腎臓/小児リハビリテーション
  - 保健/予防事業でのリハビリテーション



### 2. 充実の教育体制

ガイドラインに即した教育プログラムをマンツーマン教育体制で実施します。

- 配属先の先輩からのマンツーマンでの臨床指導
- チームで、みんなでサポートする教育環境
- グループの外部講師を招いた企画研修、また学校と連携し学術支援
- 学会への参加支援
- グループ病院間の横断的交流多数あり
- キャリアを中断することなく幅広い経験とスキルの習得が可能(グループで都内に8病院あるメリット)
- ジェネラリストとして幅広い経験をすることで、多方面で活躍できる専門職の育成を目指しています。



### 3. 充実のワークライフバランス

しっかり働きしっかり遊ぶ・休む

- 年間休日120日以上
- 平均残業時間5時間未満/月
- 有給取得率81%
- 産休・育休復帰率100%

## 5. 選考フロー

法人説明会  
病院見学会

- QRコードから申し込み
  - 電話またはEメールで申し込み
- ※WEB法人説明会も随時開催します。遠方の方もぜひご参加ください。

書類選考  
面接

- 応募書類 履歴書（顔写真あり）卒業見込証明書 成績証明書 健康診断書
- 適性検査
- 面接は1回を予定しています。

内定

- 内定となった方には、内定通知書（採用条件通知書）及び入職書類一式を郵送します。

# 新卒療法士 (PT・OT・ST) 募集

## 病院見学・法人説明会

東京の北区・荒川区・葛飾区・町田市で展開する医療法人グループです。職員数は2000名以上。急性期から回復期リハビリテーション病床までグループ全体で1209床を有しています。「医療をもって社会に貢献する」を理念として急性期医療を中心に幅広い患者様の受け入れており、地域医療に貢献しています。

**病院見学・選考申し込みは下記よりエントリをお願いします**

理学療法士



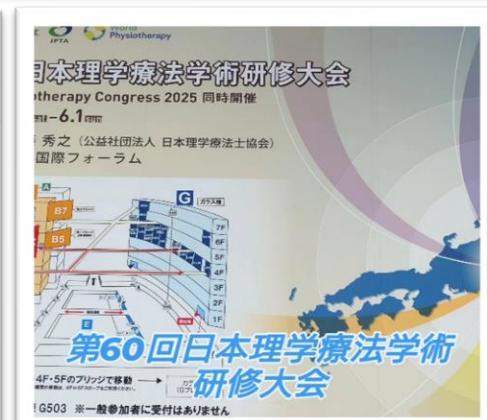
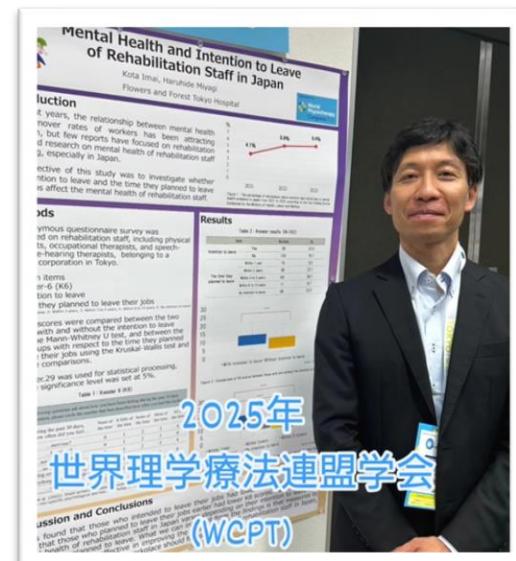
作業療法士



言語聴覚士



いつでも病院見学を受け入れておりますので、ご相談ください。



## リハビリテーション科 募集概要（新卒採用）

- ◆ 募集部門：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
- ◆ 勤務時間：8：30～17：30（60分休憩）
- ◆ 休日：4週8休制+祝日 年間休日数120日以上
- ◆ 給与：月給：228,000円～（2年目 238,000円～）  
年収：3,471,000円～
- ◆ その他 賞与年2回（昨年度実績3.5か月）  
昇給あり、食事補助あり

## Instagramなど各種SNS更新中！

グループHP



Facebook



Instagram



社会医療法人社団正志会グループ  
本部 採用育成担当部門  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目3番地お茶の水高木ビル4F  
TEL 03-5244-5375  
FAX 03-3518-9962  
[メールアドレス：saiyo@trshp.jp](mailto:saiyo@trshp.jp)



地域医療を支える、正志会グループ



受けられる社会へ

どこに住んでいても、  
その人にとって適切な医療が